

熊本地震災害派遣薬剤師・九州ブロック現地活動報告 No.11

平成 28 年 5 月 2 日

- 【派遣日程】 4月17日（日）～4月18日（月）
- 【報告者】 福岡県 吉村 宏
- 【メンバー】 中島 佳彦, 成田 憲史, 吉村 宏
- 【派遣先】 益城総合体育館
- 【交通状況】 ○往路
- 8:00 福岡市薬剤師会発
 - 11:15 熊本県薬剤師会着（現地情報の確認を行い、昼食をすませる）
 - 11:50 出発
 - 12:50 益城総合体育館着
- 復路
- 16:30 益城総合体育館出発 熊本県薬剤師会に行き、報告の後福岡へ
 - 22:30 福岡市薬剤師会着 報告の後解散
- 【活動内容】 ○17日
- 12:50 現場での指示に従い活動開始
 - 14:00～18:00 現場状況を見ながら15～20分の休憩を交代でとる。
 - 22:00～3:00, 3:00～8:00 交代で5時間ずつの仮眠
- 18日
- 15:30 福岡市薬剤師会の次のチーム到着、引き継ぎを行う。
- ◆現地での主な活動内容
- 医薬品在庫一覧表の作成
 - Dr への代替薬の提案
 - 消毒法など環境衛生への助言
 - 服薬指導

-
- 【派遣日程】 4月23日（土）～4月24日（日）
- 【報告者】 福岡県 江口 真理子
- 【メンバー】 光武 智子, 平山 知徳, 江口 真理子
- 【派遣先】 益城町総合体育館
- 【活動内容】 ①救護所において診療の補助と調剤、医薬品管理

受付から対応して患者情報を聞き取り、診療において処方サポート、調剤、投薬まで行った。調剤の流れ、発注、伝票整理を前任者から掴むのに時間がかかった。

毎日スタッフが入れ替わるので、手順を大きく書いて残すことが大切だと感じた。お薬手帳の記載方法、次亜塩素酸の希釈方法などが具体的で助かった。

薬袋記載スペースが狭く、テーブルを追加、分包機の移動、OTC 他医療用薬品の整理を同じ班の方が行ってくれ、その後は調剤がしやすくなったと思う。残置薬や、発注済みの薬品の引き継ぎがスムーズでないものがあつたため、発注書は書式を変更して一目でわかる一覧表にしている。

周辺の薬局開局情報一覧、医薬品リスト更新について熊本県薬災害対策本部に情報共有のため、メールで配信した。

頓服薬袋が少なかったので補充をお願いする。

医師の診察に必ず一人の薬剤師が付き、視診、聴診、触診という診療の一連の流れ、そして処方内容についてしっかり患者に説明している姿をみて、私たち薬剤師も身の引きしまる想いだつた。情報が患者の言葉のみということも多く、時間軸をおって言葉を引き出すことがいかに大切か学んだ。

医師からは糖尿病薬や高血圧薬の代替について等価を尋ねられたり、薬剤性アナフィラキシーの可能性について意見を求められたこともあつた。

上気道炎などに対しては、抗生剤は極力使用せず、処方されてもアモキシシリンなどであることから、感染制御に対しても注意をはらっているようだった。

定期薬については、劇的な環境の変化に対応するため3日分くらいで、小さな変化も逃さないように気を使っているようだった。

②お薬相談コーナーでの活動

OTC 薬品を配置し、調剤薬、OTC 薬ともに相談を受ける体制を整えた。受け身にとどまらず血圧測定をすすめたり、館内を巡回して高齢者を中心に相談を受けたらその場で対応するように心がけた。岩手医科大学、県立病院の感染制御専門チーム（ICAT）と連携して感染予防の方策を協議して、アルコール手指消毒の徹底をはかるため、館内や車中の方にスプレー式アルコールを提供した。感染予防の周知徹底における更なる活動が必要と判断され、ICAT より防御キットの寄付をいただいた。体育館事務局にも衛生対策チームが 23

日に立ち上がっており、ICAT、薬剤師会と協働で衛生面をささえることと思われる。

ノロウイルスはアルコールでは不十分でウエルセプトの提案もなされていた。感染源になる仮設トイレについては次亜塩素酸ナトリウムを使用し、ボランティアの方々の協力を得て環境の保全につとめていた。想像していたトイレよりずっと清潔だった。

騒音や、温度、湿度、二酸化炭素濃度も測定されており、換気にも注意をはらっている。粉塵に対しては、ほうきからクイックルワイパーに変更され、被災者自ら身の回りの自立ができるよう支援するとのことだった。

③雑感

ドア入り口付近で過ごされる妊婦さんの姿に心を痛めた。

母親からの相談を受けた。子どもの事だけでなく、ご自身の不定愁訴を訴える方もおられる。診察にいたらない方への支援ができる職種だと感じた。

歯科医師より「プライバシーが保てないので義歯の着脱ができずに口腔ケアが不十分。硬いものが食べられず、食事に困っている人もいる。」との指摘もあった。診察の場では「お茶漬けなどにごはんを食べて」など指導もあっていた。高齢者の肺炎も今後は心配される。

歯磨きも歯磨き粉を使って行うには気が引ける。飲料水以外はまだ不十分。

ペットと一緒に被災者の方もおられ、獣医師も巡回していた。

救援物資は充足しつつあるが、あとは質の担保だろうか。食事内容でどうしても炭水化物が多い。ビタミン剤の配布も必要になってくるのではないだろうか。

益城町付近の開局している薬局も大変なようだ。避難所だけでなくこちらでも支援が必要かと思った。

-
- 【派遣日程】 4月27日（水）～4月28日（木）
【報告者】 福岡県 竹野 将行
【メンバー】 小松 礼佳, 竹下 洋平, 高嶋 綾子, 竹野 将行
【派遣先】 益城総合体育館
【活動内容】 ○お薬相談ブース

- ・避難者の健康相談を行い、軽微なものに対して OTC 薬の配布と指導、症状が継続する方へは受診勧奨した。
- ・感染症対策で手指の消毒の習慣づけを炊き出し後に行った。
- ・日薬からの OTC 薬を含め在庫のリストアップ作成、在庫管理した。

○材料室

- ・ノロウイルス対策で簡易トイレの消毒薬を作成し、ボランティアの方に使用方法を指導した。その際、ガウン、マスク、手袋の着脱方法、処理方法についても徹底的に指導。全体ミーティングでも再度要請した。

○救護室

- ・日赤，国立病院機構の医師、看護師、主査の方々と連携し、患者の受付から受診、投薬までサポートした。備蓄していない医薬品は医師へ変更可能か伺い調剤した。
- ・随時更新される近隣の医療機関、薬局の営業情報を収集し、医師、主査へ報告した。今後は近隣医療機関への受診勧奨、近隣薬局への院外処方箋発行という流れにしていくとのこと。
- ・院内（カルテ）調剤は基本 3 日処方、院外は 7 日処方とすることで近隣薬局への移動手段が確保できる患者に関しては災害時院外処方せんを発行する。その際近隣薬局への在庫チェック、代替調剤可能等の連絡は我々が行い、医師と連携することとした。
- ・随時更新している熊本県薬の医薬品在庫をリストアップ、精査した。複数メーカーの医薬品があり、一つにまとめることとした。今後の薬剤師のために各薬剤にメモ紙を付け、誤発注がないようにした。

○衛生環境

- ・避難者の衛生環境をチェックするため、3 か所で二酸化炭素濃度、温度、湿度、粉塵濃度を 1 日 3 回計測。2 か所での騒音チェックを計測した。報道取材に対し、薬剤師が避難者の衛生環境を管理していることを説明し、薬剤師の職能を少し理解いただいた。

-
- 【派遣日程】 4月27日（水）～4月28日（木）
- 【報告者】 福岡県 中山 大輔
- 【メンバー】 川上 幸治，杉山 信博，白石 竜二，中山 大輔
- 【派遣先】 益城町総合体育館⇒ホテルエミナース
- 【交通状況】 8時58分博多発の新幹線にて熊本入り。ほぼ時刻表通り。

タクシー待ち 20 分で熊本県薬剤師会入り。

派遣先へのルートの説明等を受け、益城町総合体育館へ移動。

移動時間 65 分。現地 13 時 15 分ごろ到着。

【ライフライン】 電気○、水道×、ガス？

【活動内容】 初日は日赤テント内にて、姫路および広島の医療チームと患者対応。

22 時まで実施。診療は 22 時までで、翌朝 9 時より診療開始。22 時過ぎより薬剤師全体ミーティング実施。次の北九州ブロックチームより、ホテルエミナースに入る旨の指示が現地リーダー薬剤師よりあり。

その日の状況について次のチームリーダーへメール連絡。23 時ごろ解散。

4 名中 2 名は日赤テント内、2 名は車中泊。翌朝 8 時前より、朝食待ちの被災者の方へ手指消毒実施。その後、OTC 相談ブースで患者対応。

1 時間で 10 名ほど相談あり。相談内容は多岐。打撲によるシップ希望、目の違和感での目薬配布、のどの不調でうがい薬の投薬等々。OTC は薬剤師の判断で無料配布。静岡チームと OTC ブースを交代。体育館内を巡回して被災者へ声掛け実施。シップ希望者 2 名あり。その時点で、益城町総合体育館のスタッフ人数は足りていたため、リーダー薬剤師と相談の上、ホテルエミナースに移動。ホテルエミナースでは、現地リーダーへ経緯説明。その後、救護室に 2 名残り、2 名は西原村避難所へ移動。

1 名は山西小学校で先発隊に合流。被災者へゴールデンウィーク後のかかりつけへの受診を促す。もう 1 名は西原中学校にて先発隊への状況確認後、河原小学校へ現地確認のため移動。救護所看護師より、必要薬剤の要望を受け、山西小学校薬剤師をピックアップしてホテルエミナースに戻る。ホテルにて河原小学校の状況報告と薬剤の準備を実施。次の豊前築上薬剤師会チーム到着のため、河原小学校の状況報告と申し送り、救護所での業務申し送りを実施。速やかに熊本県薬剤師会へ移動。移動時間 60 分。市内の渋滞は変わらず。その後、新幹線にて北九州へ。

新幹線は時刻表通り運航。

新幹線は時刻表通り運航。

新幹線は時刻表通り運航。

新幹線は時刻表通り運航。

【派遣日程】 4 月 28 日（木）～4 月 29 日（金）

【報告者】 福岡県 吉田 公之

【メンバー】 堀 泰浩, 桜井 徹, 吉田 公之

【派遣先】 くまもと エミナース

【交通状況】 JR はソニック、新幹線ともに多少の遅れはあるもののほぼ定刻通りだった。熊本市内のタクシーは不足しており、県薬まで電車を使った。県薬から派遣地までは渋滞があり、通常より時間がかかった。

- 【ライフライン】 電気○ ガス？ 水道○飲用不可 物資○
【活動内容】 仮設薬局での調剤、衛生状態のチェック、消毒薬の補充、被災者への健康相談、必要な OTC の配布
-

- 【派遣日程】 4月28日（木）～4月29日（金）
【報告者】 福岡県 江頭 明大
【メンバー】 中村 隆一，梅野 繁智，江頭 明大
【派遣先】 総合体育館
【交通状況】 一時間ぐらいで、スムーズな方だった。
【ライフライン】 自衛隊等の支援あり、ライフラインは、ほぼ使用出来る状態
【活動内容】 調剤、OTC、お薬相談、環境検査
-

- 【派遣日程】 4月28日（木）～4月29日（金）
【報告者】 宮崎県 緒方 洋樹
【メンバー】 宮本 圭一郎，甲斐 千賀，小坂 宜雄，緒方 洋樹
【派遣先】 ホテルエミナース、西原中学校、山西小学校
【交通状況】 7：00 宮崎県薬剤師会出発→宮崎 IC→三船 IC→445号線→226号線
9：40 熊本県薬剤師会到着
10：40 熊本県薬剤師会出発
11：40 ホテルエミナース到着
【ライフライン】 ホテルエミナース、西原中学校共に電気・水道は確認。
山西中学校、29日に水道が復旧。電気は確認。
【活動内容】 ○28日
9:40 熊本県薬剤師会到着。到着後、現在状況説明。
同じ OTC が過剰にあり在庫のスペースがないということで OTC 在庫状況確認後出発。
10:40 熊本県薬剤師会からホテルエミナースに向け出発。渋滞により時間がかかる。
11:45 ホテルエミナース到着。
12:30 前任班より引き継ぎ。
緒方、小坂 2 名は西原中学校へ。宮本、甲斐 2 名は山西小学校へ。
13:30 西原中学校到着。日赤チーム診療予定だったが、長野県立木曽病院

DMAT が診療開始。後に日赤チーム到着。DMAT より現状を日赤チームに報告。現段階で DVT 疑い患者がいるため、日赤チーム医師に診察要請。ドップラー検査により、DVT は否定。他、特に患者がないため、日赤チームは別場所へ移動。

- 15:40 咳主訴で女性が来られ、DMAT 医師診察で、PL 顆粒とアストミン処方。
- 16:00 長野県立木曽病院の DMAT が引き上げる。
- 16:25 10 代女性。虫刺されで来られ、OTC 対応。ウナコーワエース G。
- 16:30 県立宮崎病院医療チーム到着 (NS のみ)。
- 16:45 60 代男性。鼻水と熱っぽさで来る。発熱がないことを確認し、OTC 対応。ベンザブロック IP で対応。6 錠渡す。
その後の対応は県立宮崎病院医療チームに委ねる。
- 17:00 西原村役場にて、多職種ミーティング
- 17:30 ホテルエミナースに戻る。
- 20:00 各県薬剤師ミーティング。(徳島、福岡、宮崎)
翌日のスケジュール確認。当面は、宮崎チームで西原中学校と山西小学校を引き継いでいく予定。

○29 日

- ～8:00 宮崎県薬剤師会と福岡県薬剤師会が交代で OTC 対応。
 - 30 代男性 咳、喉の痛みあり。ベンザブロック咳止め錠で対応。
 - 30 代男性 捻挫あり。ロキソニン S、サロメチールジクロテープで対応。
- 7:20 ホテルエミナース、1F と外の簡易トイレの消毒薬チェック。
- 7:30 保健師より夜間日赤チームと回診したが、特に問題があるような方がいないので回診は行わないと連絡あり。
- 8:15 冷蔵庫を設置。
各県薬剤師ミーティング。薬品の期限が近いものがあるので注意。
- 9:00 西原村役場にて、多職種ミーティング。
昨日に引き続き、緒方、小坂 2 名は西原中学校へ。宮本、甲斐 2 名は山西小学校へ。
- 9:25 西原中学校到着。保健師 3 名 (大阪府 2 名、兵庫県 1 名) と情報収集。
感染予防としてトイレ等の衛生状況確認。消毒剤が足りないのでお昼から補充。
- 10:10 男性 足の痛みとむくみを訴えて来られる。左右差あり。DVT の可能性があるので保健師と相談。タイミングよく群馬県立病院チームが来られエコーで検査してもらう。検査後、特に異常なく経過観察。他

にも DVT 疑いで 6 名エコー検査。

- 10:10 徳島県チームの Dr2 名、理学療法士 2 名到着。
- 11:10 60 代女性。足の痛み訴えられ、エコーで検査を行ったが異常なし。
OTC 対応。バンテリンコーワポップ S 対応。
- 11:40 小坂はそのまま西原中学校待機。緒方はホテルエミナースへ帰所。
- 12:00 ホテルエミナース到着。消毒剤と OTC の不足分を補充。
- 12:30 後任班へ引き継ぎ。
- 13:20 西原中学校到着。消毒剤が不足しているところの補充を行う。
- 13:45 西原中学校出発し山西小学校へ向かう。
- 14:00 山西小学校で待機中。後任班より OTC の不足の連絡あり。山西小学校に在庫あったので配達。
- 14:35 山西小学校出発。
高速道路が全面開通したので、益城熊本空港 IC より高速に入る。
片側一車線通行、20km 規制、一時停止等あり益城熊本空港 IC から
嘉島 JCT まで渋滞。
- 18:30 宮崎県薬剤師会到着

【派遣日程】 4 月 29 日（金）～4 月 30 日（土）

【報告者】 福岡県 樋口 耕司

【メンバー】 古賀 富美子，増住 丈士，樋口 耕司

【派遣先】 益城町総合体育館

【交通状況】 行きの植木 IC 手前 4km から渋滞した他は、スムーズに通行できた。

【ライフライン】 電気○ ガス？ 水道× 通路にも被災者多数

【活動内容】 ①お薬相談コーナー(OTC)

・4/29 8:00～21:45 56 人（お薬等を渡した人数）

・4/30 8:00～引継迄 13 人（お薬等を渡した人数）

・相談等（雑談含む）

・チャック袋に用法用量記入

・体温計設置依頼

・救護テントへの案内

・4/29 にお薬を渡した人や相談を受けた人の状態チェック

②避難所環境測定（7:00、15:00、21:00）

・視聴覚教室、武道場、第一会議室の温度、湿度、二酸化炭素濃度、照度、

浮遊粉じんの測定。4/29より救護テントも測定開始。

・体育館武道場入口付近、ミナテラス入口付近の騒音レベル測定。

③全体ミーティング、薬剤師ミーティング、見廻りと声かけ。

-
- 【派遣日程】 4月29日（金）～4月30日（土）
- 【報告者】 福岡県 池上 匡宏
- 【メンバー】 庄野 茂徳、斎藤 直子、石田 英継、池上 匡宏
- 【派遣先】 エミナース、西原小学校
- 【交通状況】 折尾から博多まで在来線、博多から熊本まで新幹線、熊本から南熊本まで在来線利用。遅れ等の異常無し。
- 【ライフライン】 電気、水道は復旧済み。但し入浴は不可。
エミナースは30日から浴場を一般開放する予定。
- 【活動内容】 エミナースでは、救護所にて調剤業務。1日15枚程度。合間に救援物資として入ってくる医薬品、OTCの仕分けとリストの更新。仕分けとリストの更新作業に追われて車中泊の被災者に対しての声かけが全くできなかった。救援物資のOTCは総合感冒薬や鎮痛剤が多く、在庫過剰になっているため対策本部に連絡して供給を停止してもらい、要望があったものを供給依頼するように変更した。
西原小学校では、医師に同行して調剤と被災者に聞き取りを行う。
入浴ができないためか、かゆみやオムツかぶれなどの皮膚疾患が多いように思われるので、救護所には外用剤の備蓄を増やすのが喫緊の課題であると感じた。